



いけい ひろこ
伊計 裕子 議員

■憲法公布から75年

問 国民の力で改憲策動を阻んできたが、任期中の改憲を公言する岸田首相が暴走している。平和への強い思いを持っている西原町民の町長として、憲法を変え、戦争する国づくりを進める政府に対する見解を伺う。

町長 オール沖縄、オール西原の立場で「命どう宝」「平和実現」を掲げ辺野古新基地建設の反対を始め保守・革新の垣根を超え、平和な島沖縄を目指して訴えてきた。町行政のトップとしては、何よりも町民の福祉・教育を優先すべきもの。憲法改正の議論については、国政での議論と思うのでコメントは適切ではない。

■待ったなしの気候危機問題

問 耕作放棄地を活用したソーラーシェアリング導入等の検討について伺う。

総務部長 農業経営のサポートや荒廃農地の再生利用というメリットがあると言われ、温暖化対策の視点から

は有効な手段かと思う。

問 ソーラーシェアリングに取り組み検討の余地はあるか。

産業観光課長 農業委員会、農林水産係も含め、耕作放棄地対策として地権者の理解を得て、その土地を集積。発電事業をしながら農業に従事する方に相談をして、紹介していきたい。

■特別障害者手当とは

問 特別障害者手当は、日常生活に常時特別な介護が必要な20歳以上の人に支給される国の制度で、市区町村への申請が必要。制度の詳しい内容と周知について伺う。

福祉部長 特別障害者の福祉向上を図ることを目的として、3か月分を

まとめて年に4回支給。周知方法は、広報7月・12月号に掲載。また、窓口でパンフを配布。

問 疑義照会で2016年の厚労省通知によると、特養老人ホームや3カ月以上の入院・老人保健施設・介護利用型医療施設は対象外だが、それ以外の有料老人ホーム等は対象とあるか。

健康支援課長 手元に資料がないため調べてみる。

その他の質問

○デジタル行政
○介護保険施設入所者への補足給付制度見直しによる利用者への影響

■新型コロナ対策について

問 新型コロナは10月に入り落ち着いてきた状況だと思ふ。しかし今、第6波に向け3回目のワクチン接種の準備段階を迎えているが取組について伺う。

福祉部長 令和3年12月末までに2回目接種から8ヶ月経過する方へ、



おおしお りんこ
大城 純孝 議員

的にも一番多い世代だと思う。第6波の中でリスクの高い世代に対してどう対応しているのか。

福祉部長 若年層の方々の3回目の接種については、他の年代と同様に追加接種できる2週間前をめどに接種券を送付する。個別接種を基本に計画しているが、対象人数が多く町内の医療機関で接種が追い付かない場合は集

■西原の市街化区域の拡大について

問 本町においては市街化区域の拡大を予定している。住民説明会の後、事務的な手続きはどのようになるのか。またいつごろ承認されるのか。

建設部長 合意が得られた場合

建設部長 今後はMICE施設を含め県道浦添西原線、国道329号バイパス等の整備状況を見極め、面的整備、民間活用や土地区画整理事業を検討し、市街化拡大に向けMICE周辺エリアと連動するまちづくりを進めていく。

その他の質問

○国道329号バイパス関連で工業専用地域の拡大について
○沖縄振興計画でのサンライズベルト構想の実現について
○西地区区画整理と徳佐田地域の取り組みについて

は、県と協議し原案を作成した後、公聴会の開催の手続きに入る。公聴会を経て本町へ意見照会があり、本町の都市計画審議会へ諮問される予定。その後、県から国土交通大臣の同意を得て都市計画の決定告示となる。告示は令和5年3月を予定。

問 市街化区域は大型MICEの関連で再拡大はあるのか。

可能か。

町長 本町と伊是名村は尚円王を歴史的背景に持つ町村として、これまでも機会があるごとに伝統芸能や子供たちによる交流が行われてきた。前年度本町でも尚円王即位五百五十年記念シンポジウムを開催予定だったが、新型コロナウイルスの影響により中止した。過去の一般質問にも答弁した通り財政上の諸理由により、姉妹都市締結には至っていない。

総務部長 一括交付金事業を活用し様々な事業を実施しているが、今年度は追加を予定している事業はない。本町では特に教育関係事業に力を入れて事業を実施し、多大な効果がでている。今後とも継続して教育関係事業を行っていく予定。一括交付金の継続については重要性や必要性について、これまでの事業効果を検証し同制度を大いに評価した上で、これまで内閣府や県に継続を求めているところである。

■小波津川の完成域の除草、浚渫について

問 小波津川は雑草木が繁茂し空き缶、粗大ゴミ等の投棄がある。県に除草、浚渫を求めることが可能か伺う。



おおた あつし
大田 實 議員

町長 小波津川は整備済護岸等に

雑草木が生い茂りゴミ等が不法投棄されているのが現状である。集中豪雨時には流れを阻害する恐れもあり、河川氾濫につながりかねない事から、去る9月8日に県中部土木事務所長に小波津川雑草木等の刈除除去について、要請を行った。所長から予算を確保し除草を行うこと、また浚渫についても状況を見ながら対応していきたい旨回答を得た。

■伊是名村との姉妹町村締結について

問 尚円王は伊是名村の出身で、西原町は縁の地である。姉妹町村締結により、物産展等につながり双方にメリットがあるかと思う。締結は

■一括交付金事業について

問 一括交付金を必要とする事業があるかと思うが、町で期限内にやっておく事業はないか。一括交付金の継続は可能か。

その他の質問

○平園公民館建設の進捗状況